

見積参考資料

R2三土 山城東祖谷山線(龍宮トンネ
委託業務名ル) 三・東祖谷和田 トンネル修繕設
計業務

注意

「見積参考資料」は入札参加者の迅速で適正
な業務委託費の見積りのための一資料であ
り、委託契約を拘束するものではない。

総括表

費目	単位	数量	単価	金額	摘要
設計業務価格	式	1			
業務価格	式	1			
消費税相当額	式	1			
業務委託料	式	1			

業務委託料内訳書

業務名	R 2 三土 山城東祖谷山線 (龍宮トンネル) 三・東祖谷和田 ト ンネル修繕設計業務				業 種 項 目	土木設計業務 共通	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
共通		式	1				
共通(設計業務)		式	1				
打合せ等		式	1				
打合せ	打合せ2回	業務	1				内 1号
トンネル修繕設計		式	1				
トンネル修繕設計		式	1				
設計計画		式	1				内 2号
現地踏査		式	1				内 3号
補修工法の検討	L=505mにつき、 $\alpha 1=+0.2$ 損傷箇所140箇所につ き、 $\alpha 2=+1.2$ 3工法につき、 $\alpha 3=+0.4$	式	1				内 4号
施工計画	施工難易度：普通	式	1				内 5号
直接経費		式	1				
直接経費		式	1				
旅費交通費		式	1				

業務委託料内訳書

業務名	R2三土 山城東祖谷山線（龍宮トンネル） 三・東祖谷和田 ト ンネル修繕設計業務	業 項	種 目	土木設計業務 直接経費			
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
旅費交通費(率計上)	土木設計業務	式	1				
電子成果品作成費		式	1				
電子成果品作成費(設計)	概略設計、予備設計又は詳細設計	式	1				
直接原価（その他原価除く）		式	1				
その他原価		式	1				内 6号
一般管理費等		式	1				内 7号
設計業務価格		式	1				
消費税相当額		式	1				
設計業務委託料		式	1				

1 次内訳書

単価使用年月	2020.09
歩掛適用年月	2020.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	打合せ	打合せ2回				
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
打合せ		業務	1			内 8号
合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2020.09
歩掛適用年月	2020.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	設計計画					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人	1			
技師(A)		人	1			
技師(B)		人	0.5			
合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2020.09
歩掛適用年月	2020.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 3号	現地踏査					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
技師(A)		人	1			
技師(B)		人	1			
技師(C)		人	1			
合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2020.09
歩掛適用年月	2020.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 4号	補修工法の検討	L=505mにつき、 $\alpha 1=+0.2$ 損傷箇所 140箇所につき、 $\alpha 2=+1.2$ 3工法に つき、 $\alpha 3=+0.4$				
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人	3.8			
技師(A)		人	3.8			
技師(B)		人	7.4			
技師(C)		人	7.2			
技術員		人	12			
合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2020.09
歩掛適用年月	2020.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 5号	施工計画	施工難易度：普通				
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人	0.5			
技師(A)		人	1.5			
技師(B)		人	1			
合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2020.09
歩掛適用年月	2020.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

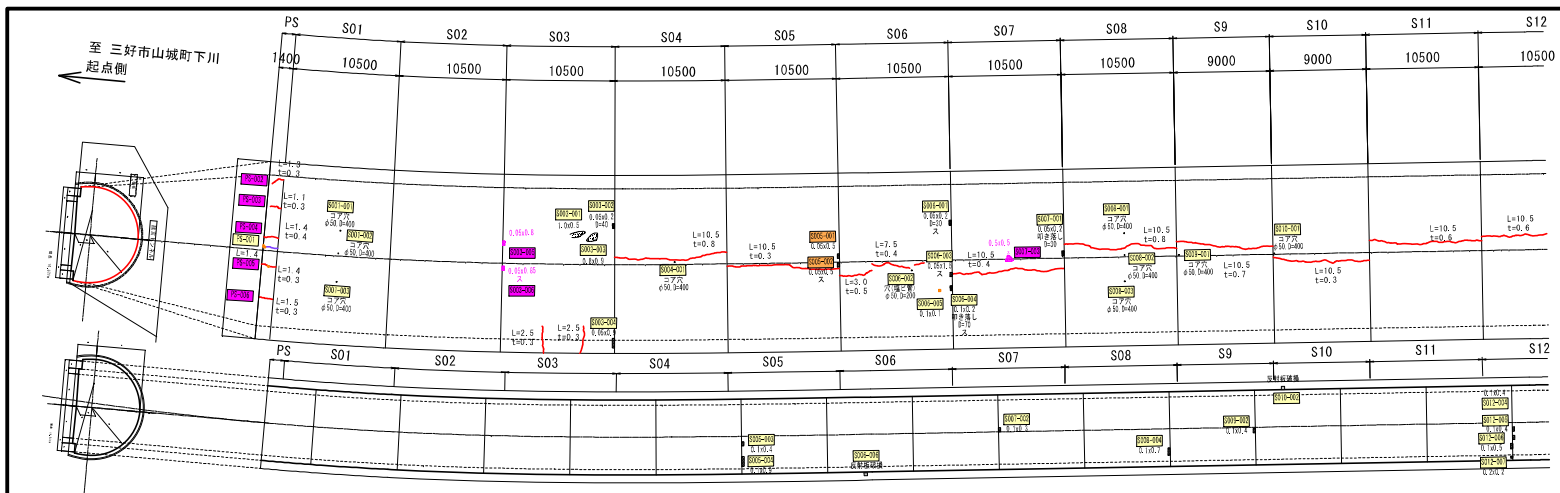
内 6号	その他原価					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
直接人件費（設計業務）		式	1			
$\alpha / (1 - \alpha)$		%				
その他原価		式	1			
合計						

2次内訳書

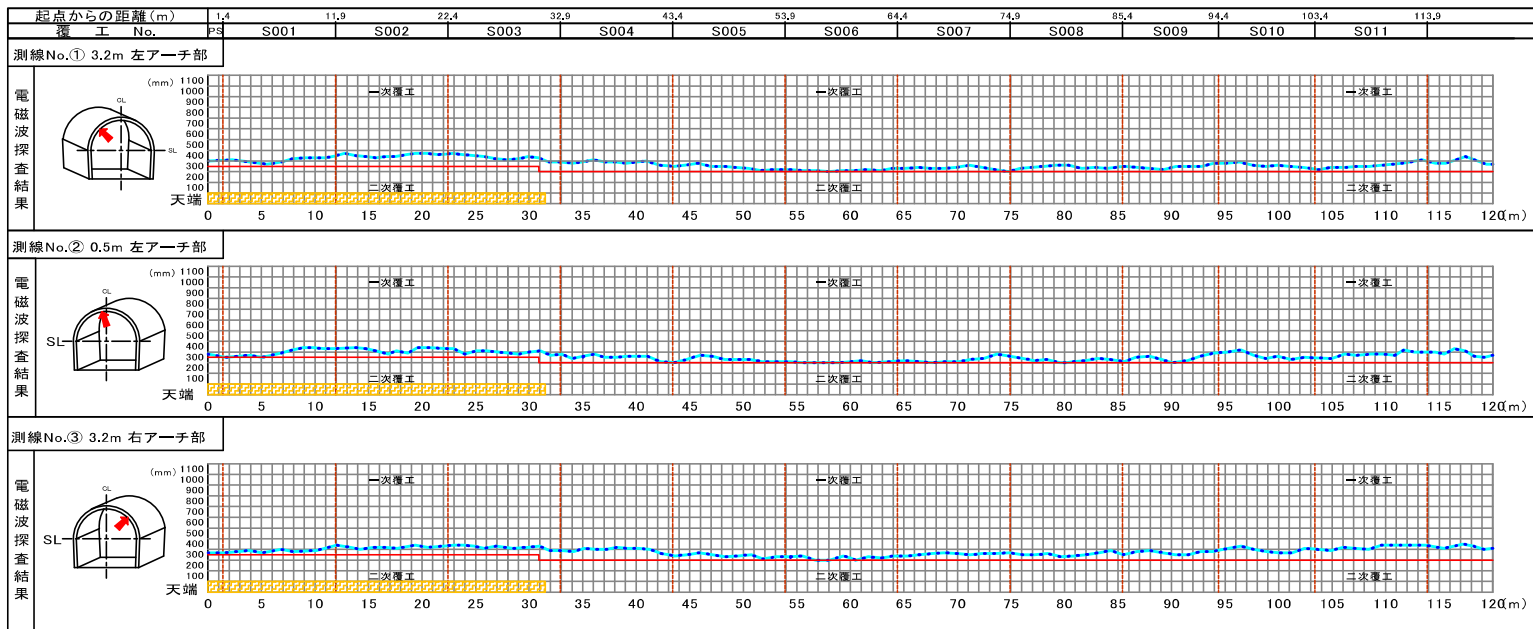
単価使用年月	2020.09
歩掛適用年月	2020.09
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 8号	打合せ						
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	主任技師		人	1			
	技師(A)		人	2			
	技師(B)		人	1			
	合計						

1.4.6 調査結果とりまとめ図 PS~S12



距離	1.4	11.9	22.4	32.9	43.4	53.9	64.4	74.9	85.4	94.4	103.4	113.9	
スパン番号	PS	S01	S02	S03	S04	S05	S06	S07	S08	S09	S10	S11	S12
ひび割れ密度 (m/m ²)	0.35	0.00	0.00	0.03	0.06	0.06	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
圧さ・ひび割れによる変状	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
材質劣化(うき・はく離)	I	II	I	II	II	III	III	II	II	II	II	I	II
漏水などによる変状	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
突発性崩壊の可能性	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
総合判定	II	II	I	II	II	III	III	II	II	II	II	I	II



凡例

表示	目視点検での変状種類	表示	目視点検での変状種類
	施工目地		漏水、水浸、沈砂 (厚さ cm)
	遊離石灰等により目詰まりしたひび割れ		海陽物(遊離石灰など)
	ひび割れ(0.3mm)未満		欠損
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)		
	段差 矢印側突出。数値は段差(mm)		
	コーロドジョイント		
	圧さ		
	うき、はく離 (ハンマー打診異常箇所)		
	はく落(はく落跡)		
	骨材の露出(豆板部)		
	コーラの劣化		
	鉄筋露出		
	空洞		
	漏水(漏水量 リットル/分)		
	漏水(濡れている部分)		

※緑色が新設の変状箇所

健全度判定区分

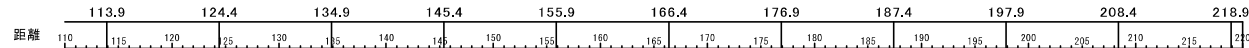
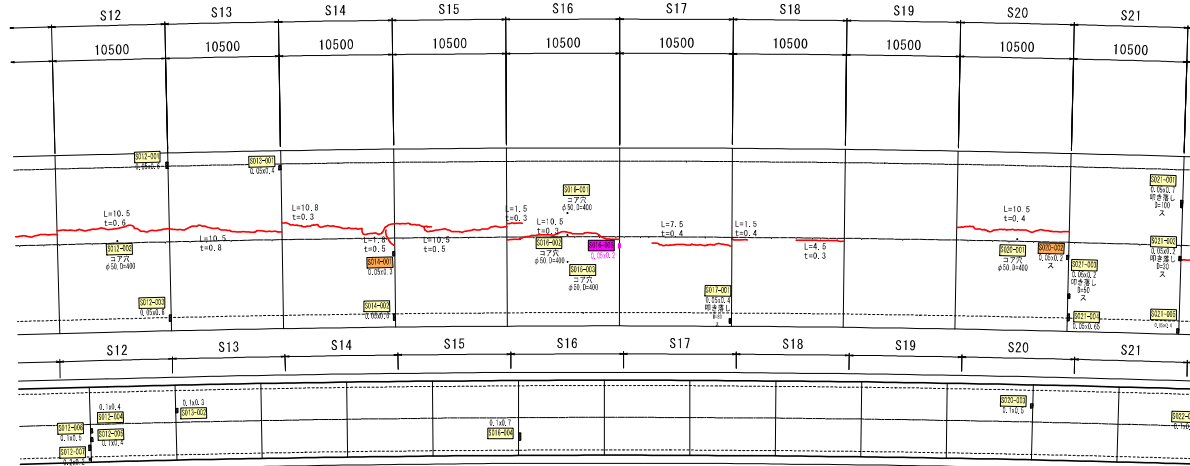
区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずることが望ましい状態。
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

[H26道路トンネル定期点検要領：国土交通省道路局(自治体用)]

レーダー探査凡例	コアリング凡例		
	測定巻厚線		覆工(コア削孔)
	一次覆工線		空洞(コア削孔)
	設計巻厚線		
	目地線		
	空洞もしくは空隙		
	鉄筋区間		

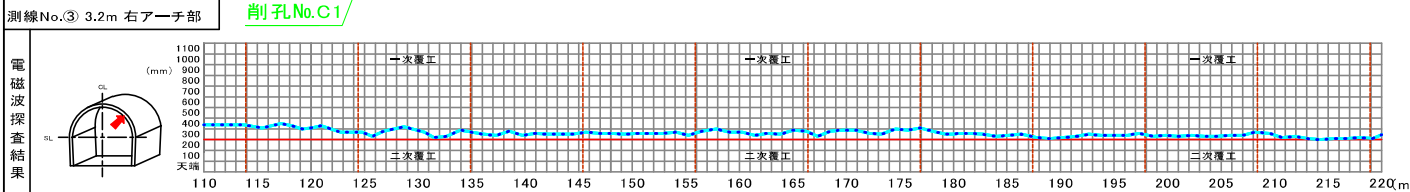
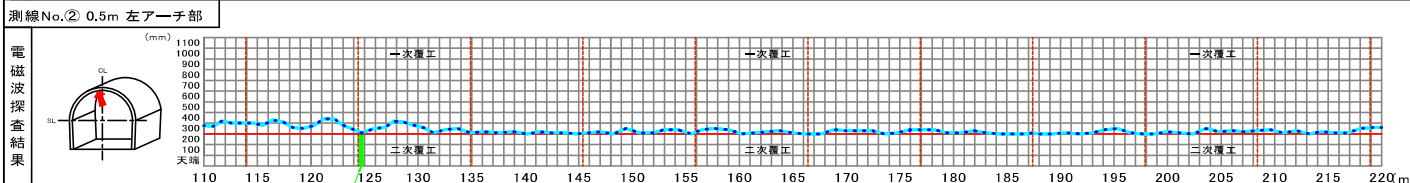
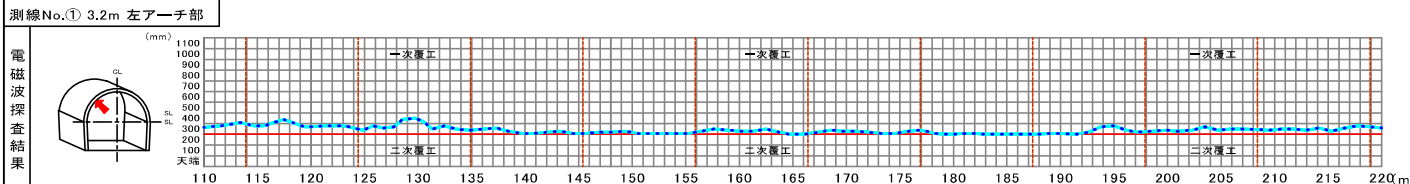
ひび割れが密集している場合で幅0.3mm以上のひび割れ密度が0.2m/m程度以上の場合、変状の原因を考慮して1ランクあげるものとする。

道路トンネル維持管理便覧(本体工編) p.203



スパン番号	S12	S13	S14	S15	S16	S17	S18	S19	S20	S21
ひび割れ密度 (m/m ²)	0.06	0.06	0.07	0.06	0.07	0.04	0.03	0.00	0.06	0.00
圧ぎ・ひび割れによる変状	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
材質劣化(うき・はく離)	II	II	III	I	II	II	I	I	III	II
漏水などによる変状	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
突発性崩壊の可能性	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
総合判定	II	II	III	I	II	II	I	I	III	II

起点からの距離(m)	113.9	124.4	134.9	145.4	155.9	166.4	176.9	187.4	197.9	208.4	218.9	
掘工 No.	S012		S013		S014		S015		S016		S017	



削孔No.C1

凡例

表示	目視点検での変状種類	表示	目視点検での変状種類
	施工目地		漏水、水浸、流砂 (厚さ cm)
	遊離石灰等により目詰まりしたひび割れ		海陽物(遊離石灰など)
	ひび割れ(0.3mm)未満		欠損
	ひび割れ(0.3mm)以上 数値はひび割れ開口幅(mm)		
	段差 矢印側突出。数値は段差(mm)		
	コールドジョイント		
	圧ぎ		
	うき、はく離 (ハンマー打診異常箇所)		
	はく離(はく落跡)		
	骨材の露出(豆板部)		
	コーラーの劣化		
	鉄筋露出		
	空洞		
	漏水(漏水量 リットル/分)		
	漏水(濡れている部分)		

(推定できるひび割れ方向)

清音 濁音

(表示方法)

※緑色が新設の変状箇所

健全度判定区分

区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずることが望ましい状態。
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

[H26道路トンネル定期点検要領 国土交通省道路局(自治体用)]

レーダー探査凡例

	測定巻厚線
	一次覆工線
	設計巻厚線
	目地線
	空洞もしくは空隙
	鉄筋区間

コアボーリング凡例

	覆工(コア削孔)
	空洞(コア削孔)

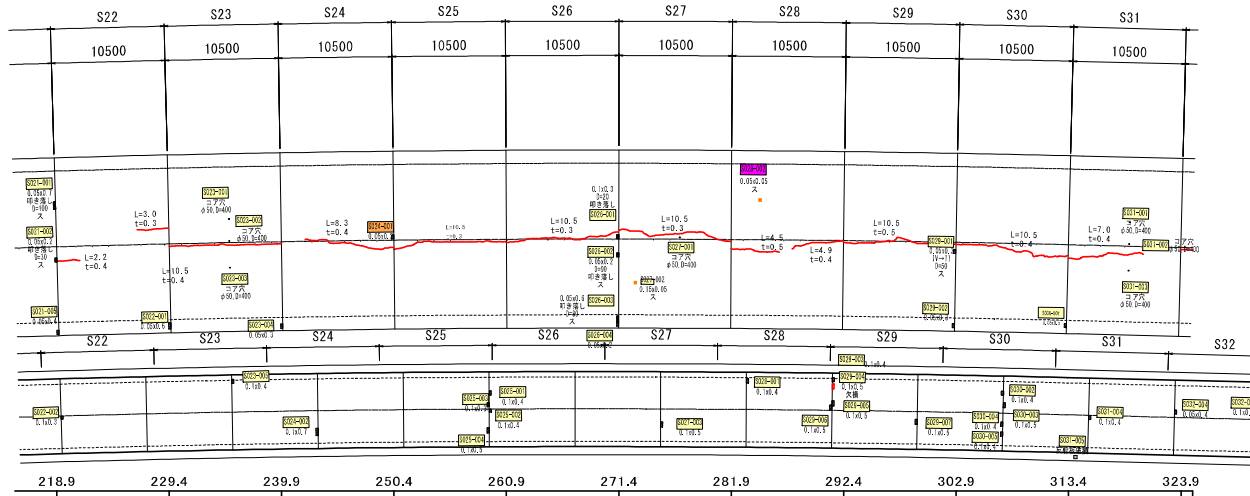
削孔No.C1 S13+0.3m (L0.5m)

二次覆工厚=310mm 削孔長=310mm 空洞厚さ=0mm

※L=210mm試験試料採取(コアボーリング)
 ※試験試料採取後、ハンマードリルにて覆工背面確認

<試験結果>

圧縮強度:20.4N/mm² 中性化深さ:10.0mm



距離	215	220	225	230	235	240	245	250	255	260	265	270	275	280	285	290	295	300	305	310	315	320	325
スパン番号	S22		S23		S24		S25		S26		S27		S28		S29		S30		S31				
ひび割れ密度 (m/m ²)	0.03		0.06		0.05		0.06		0.06		0.06		0.05		0.06		0.06		0.06		0.04		
圧ざ・ひび割れによる変状	I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		
材質劣化(うき・はく離)	II		II		III		II		II		II		II		II		II		II		II		
漏水などによる変状	I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		
突発性崩壊の可能性	I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		
総合判定	II		II		III		II		II		II		II		II		II		II		II		

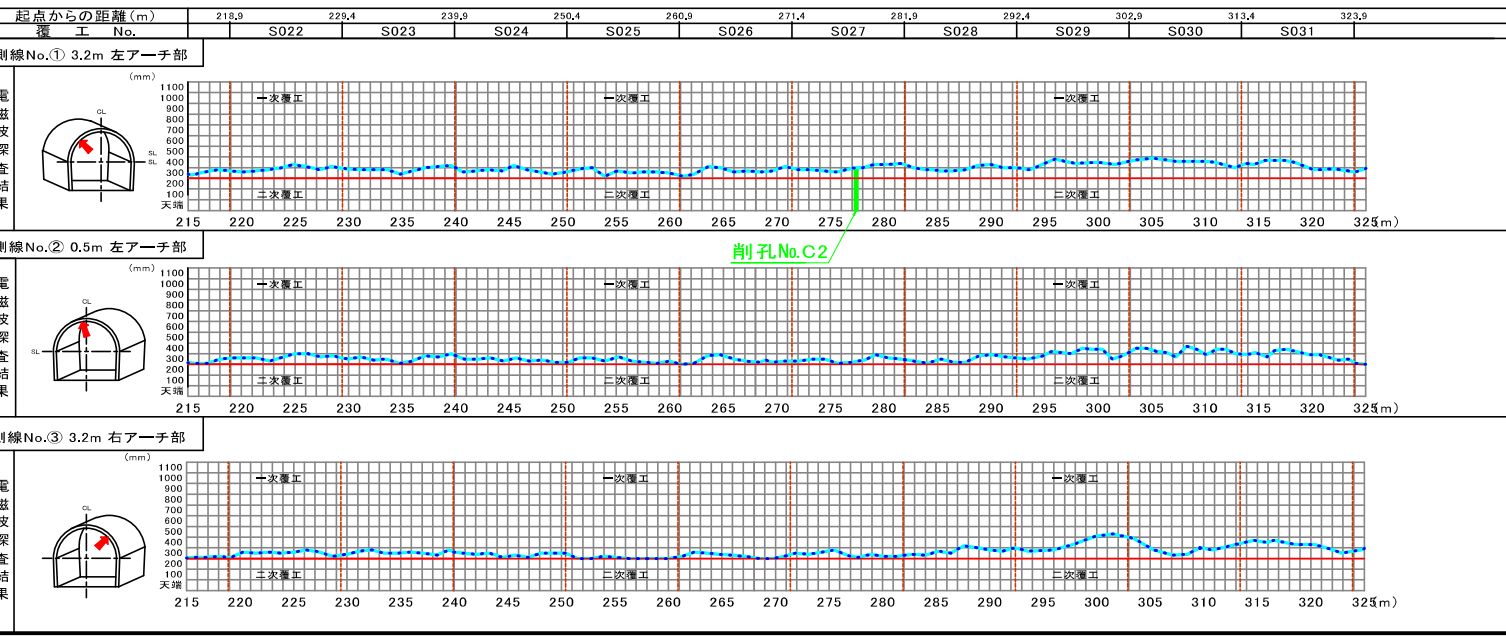
凡例

表示	目視点検での変状種類	表示	目視点検での変状種類
	施工目地		漏水、水浸、沈砂 (厚さ cm)
	遊離石灰等により目詰まりしたひび割れ		海眼物(遊離石灰など)
	ひび割れ(0.3mm)未満		欠損
	ひび割れ(0.3mm)以上 数量はひび割れ開口幅(mm) 長さ 矢印側突出、数値は段差(mm)	(推定できるひび割れ方向)	
	コールドジョイント		
	圧ざ		うき、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく落(はく落跡)		骨材の露出(豆板部)
	コーリーの劣化		鉄筋露出
	鉄筋露出		空洞
	漏水(漏水量 リットル/分)		漏水(露れている部分)
	漏水(露れていない部分)		

健全度判定区分

区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずることが望ましい状態。
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

[H26道路トンネル定期点検要領 国土交通省道路局(自治体用)]



レーダー探査凡例	コアリング凡例		
	測定巻厚線		覆工 (コア削孔)
	一次覆工線		空洞 (コア削孔)
	設計巻厚線		
	目地線		
	空洞もしくは空隙		
	鉄筋区間		

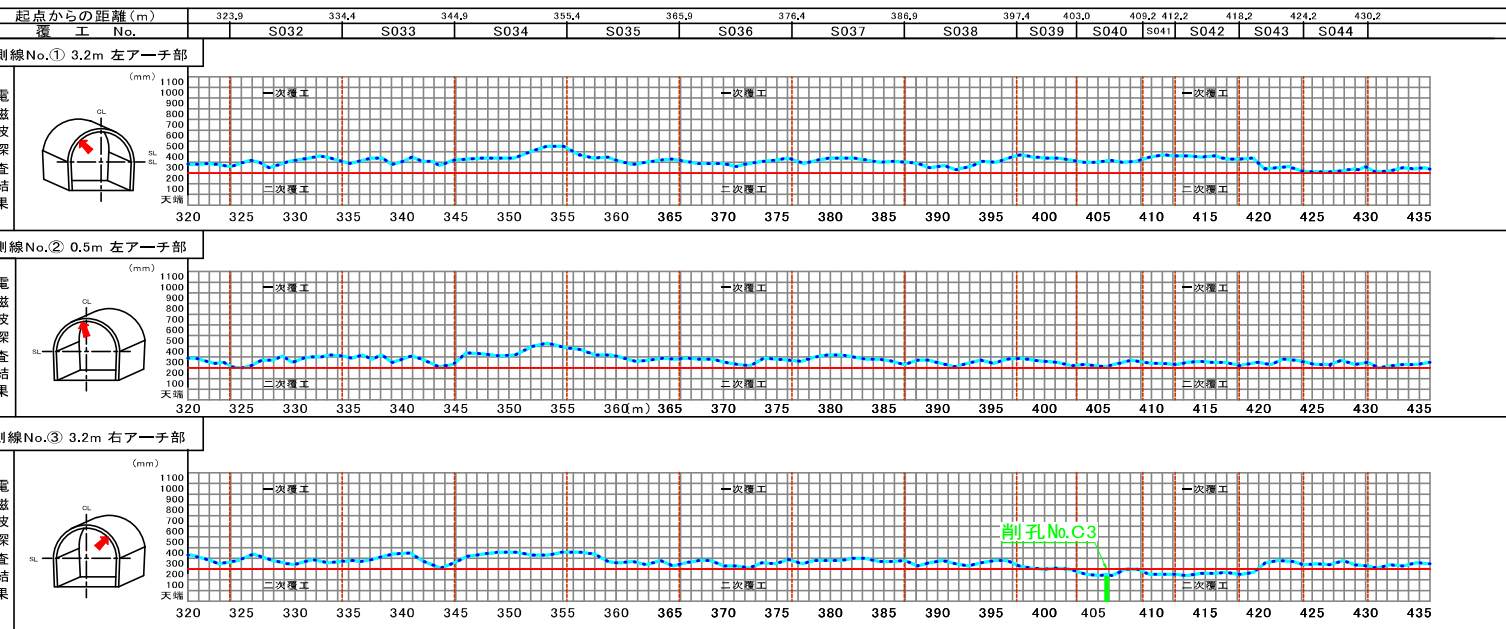
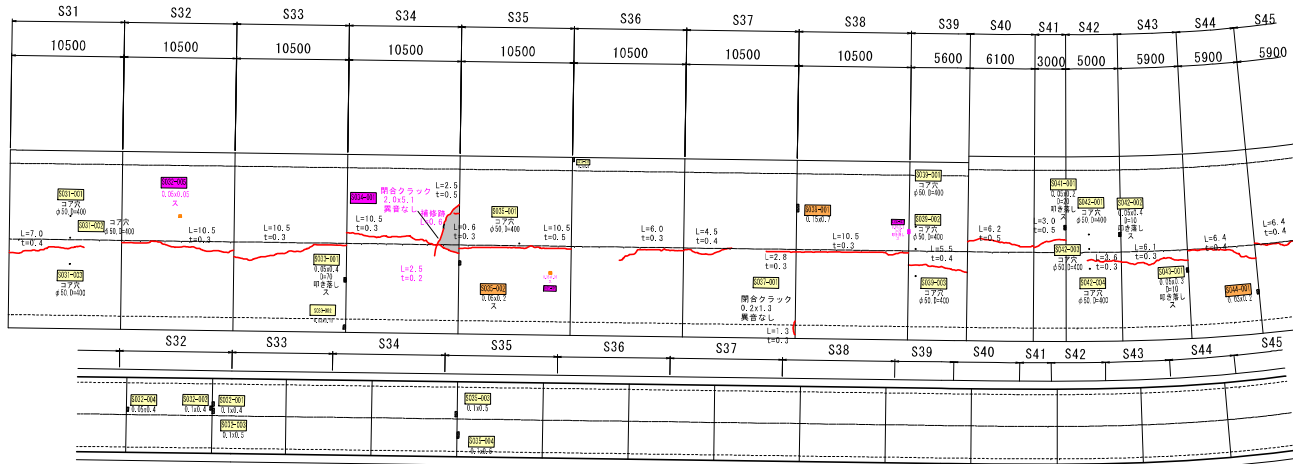
削孔No.C2 S27+6.0m (L3.2m)

二次覆工厚=400mm 削孔長=400mm 空洞厚さ=0mm

※L=200mm試験試料採取(コアボーリング)
 ※試験試料採取後、ハンマードリルにて覆工背面確認

<試験結果>

圧縮強度: 21.7N/mm² 中性化深さ: 9.1mm



健全度判定区分

区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずることが望ましい状態。
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

(H26道路トンネル定期点検要領・国土交通省道路局(自治体用))

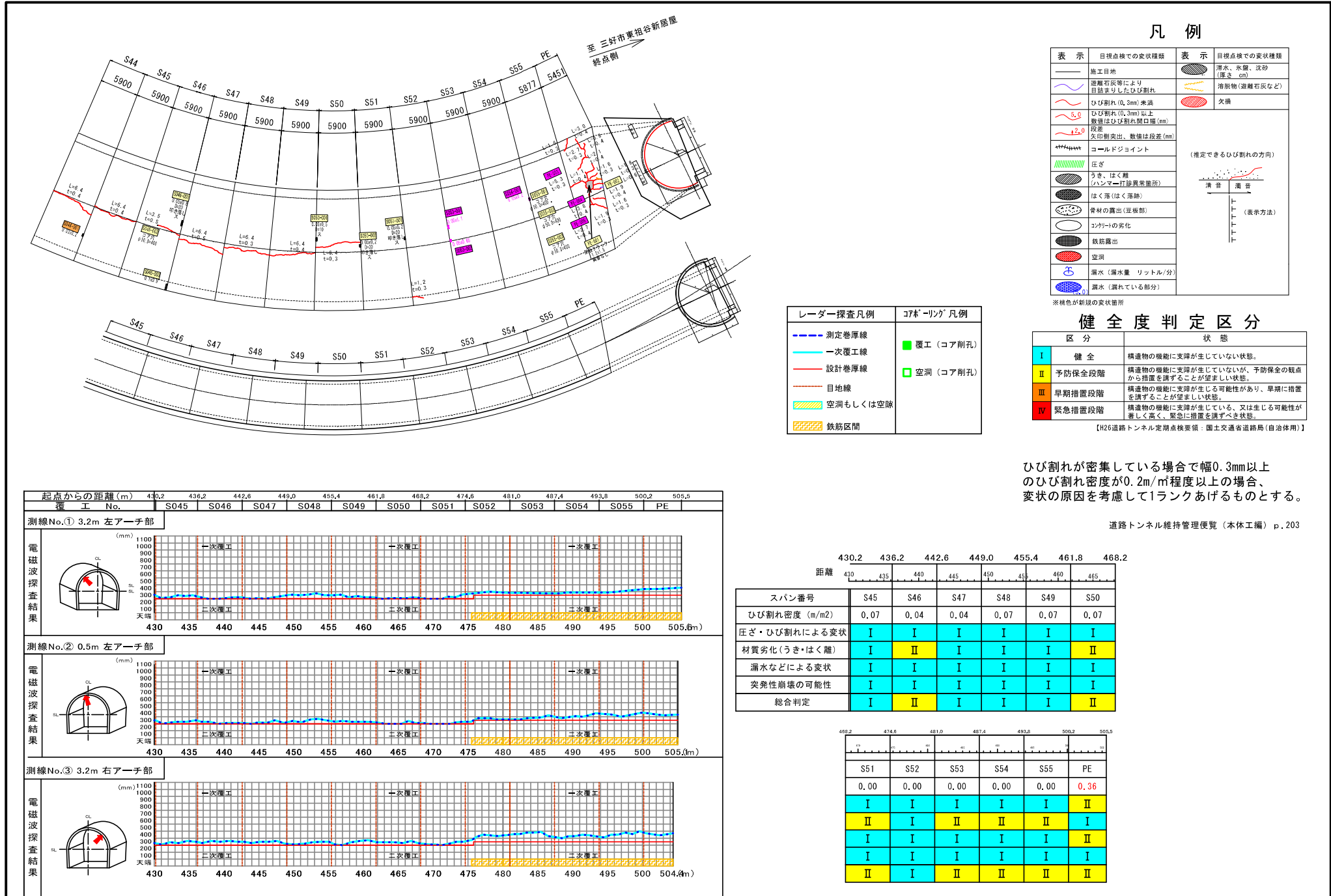
削孔No.C3 S40+2.8m (R3.2m)

二次覆工厚=250mm 削孔長=250mm 空洞厚さ=0mm

※L=190mm試験試料採取(コアボーリング)
※試験試料採取後、ハンマードリルにて覆工背面確認

<試験結果>

圧縮強度: 36.7N/mm² 中性化深さ: 8.2mm



ひび割れが密集している場合で幅0.3mm以上のひび割れ密度が0.2m/m²程度以上の場合、変状の原因を考慮して1ランクあげるものとする。

道路トンネル維持管理便覧 (本体工編) p.203